

## 慶野松原危険木調査

調査者：

宮田和男・鳥越 茂・宗實久義

はじめに.

史跡名勝慶野松原は 16ha の広大な海岸マツ林で、万葉の時代から多くの人に親しまれて来た。これだけの規模の海岸マツ林は全国に誇れるもので、これは地元住民による日常的なマツの古木処理や落葉除去が行われた結果である。東北大震災においてマツ林は防災上でも大きな役割を果たしており、今後とも保存していかなければならない名勝地である。マツの多くは直径約 40 cm、樹高 10～20m で、下枝は枯死しており、落下の危険性の高いものが多い。外観から見ると危険は感じられないが、よく見ると幹に空洞や縦裂の入ったものが見られる。そこで、兵庫県みどりのヘリテージ会に属する樹木医 3 名が危険木の調査を行ったので報告する。

1. 調査場所：南淡路市松帆 慶野松原

2. 調査月日：平成 28 年 8 月 11 日

3. 調査方法：

1) 図 - 1 の経路で調査した。大径木が倒壊すると周囲への被害が大きくなるので、遊歩道の両側約 5m の範囲で樹幹直径約 50 cm 以上の大径木について危険度を判定した。

2) 危険木は外観診断と木槌による打音により判定した。

3) 危険度の判定基準

健全：特に大きな傷や空洞がなく、樹勢もよい。

要観察：幹に空洞や縦裂、多数の枝枯れなどが見られる。

要精検：空洞が特に大きく、幹周辺木部が薄くなっており、精査して早急な対応を要する。

枯死：完全に枯れている。

5. 結果

1) 結果は表 1 のとおりで、健全木 9 本、要観察 12 本、要精検 1 本、枯死 0 本、計 22 本である。

2) 調査木は図 - 2 の写真のとおりである。

3) 図 - 1 は調査したマツの経路で、A20 は脚部に深さ約 90 cm の空洞ができており、幹外周が非常に薄く、倒壊の恐れがあり、早急な対応が必要。

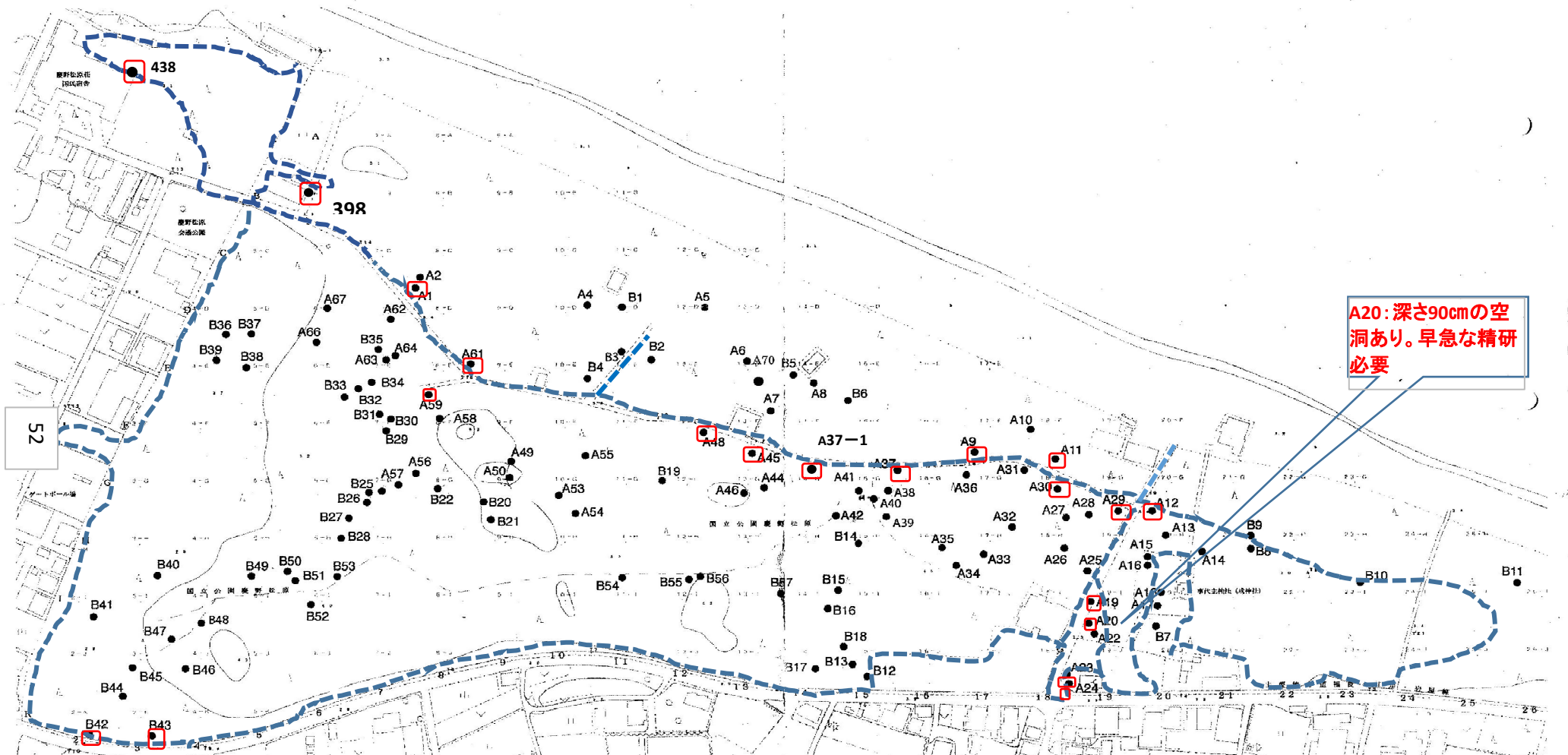
4) ほとんどのマツに太い枯枝が見られるが、日常管理として剪定されるべきものとして本調査では特記していない。

5) 本調査は 5 年間隔で継続し、安全管理を行う必要がある。

慶野松原危険木調査経路図  
平成28年8月11日

凡例  
調査経路  
調査木

対象大樹木



## 平成28年慶野松原マツ危険木調査

| 樹木No. | 健全 | 要観察 | 要精検 | 枯 | 備 考                 |
|-------|----|-----|-----|---|---------------------|
| A1    | ○  |     |     |   |                     |
| A61   |    | ○   |     |   | ヒトクチタケ              |
| A59   |    | ○   |     |   | 大枝枯                 |
| A48   |    | ○   |     |   | 脚部に大きな穴             |
| A45   |    | ○   |     |   | 縦裂あり                |
| A37-1 |    | ○   |     |   | 枯れ枝多                |
| A37   | ○  |     |     |   |                     |
| A9    |    | ○   |     |   | 枯れ枝多                |
| A31   | ○  |     |     |   |                     |
| A30   |    | ○   |     |   | 空洞あり                |
| A11   |    | ○   |     |   | 枯れ枝多                |
| A29   |    | ○   |     |   | 枯れ枝多                |
| A12   | ○  |     |     |   |                     |
| A19   | ○  |     |     |   |                     |
| A20   |    |     | ○   |   | 深さ90cmの空洞あり、早急な精検必要 |
| A22   | ○  |     |     |   |                     |
| A23   |    | ○   |     |   | 根系弱く、駐車場車の制限必要      |
| A24   | ○  |     |     |   |                     |
| B42   | ○  |     |     |   |                     |
| B43   | ○  |     |     |   |                     |
| 398   |    | ○   |     |   | 落雷による縦裂あり           |
| 438   |    | ○   |     |   | 縦裂深く伐採希望            |

※1 遊歩道の両側約5mの範囲で、直径約50cm以上のマツについて危険度を判定した。ほとんどのマツは道の上に枯れ枝が伸びており、日常管理で除去されるものとして個別には記述していない。

※2 危険木判定は木槌による打音と外観により行った。

※3 大径木は倒木により周囲への被害が大きいため、まず遊歩道周辺の大径木を調査した。今後約5年周期で観察を継続することが望まれる。



## 慶野松原危険木調査(平成28年8月11日)



A61



A59



A48



A45



A37-1



A37



A9



A31





A30



A11



A29



A12



A19



A20



A22



A23





A24



B42



B43



398



438